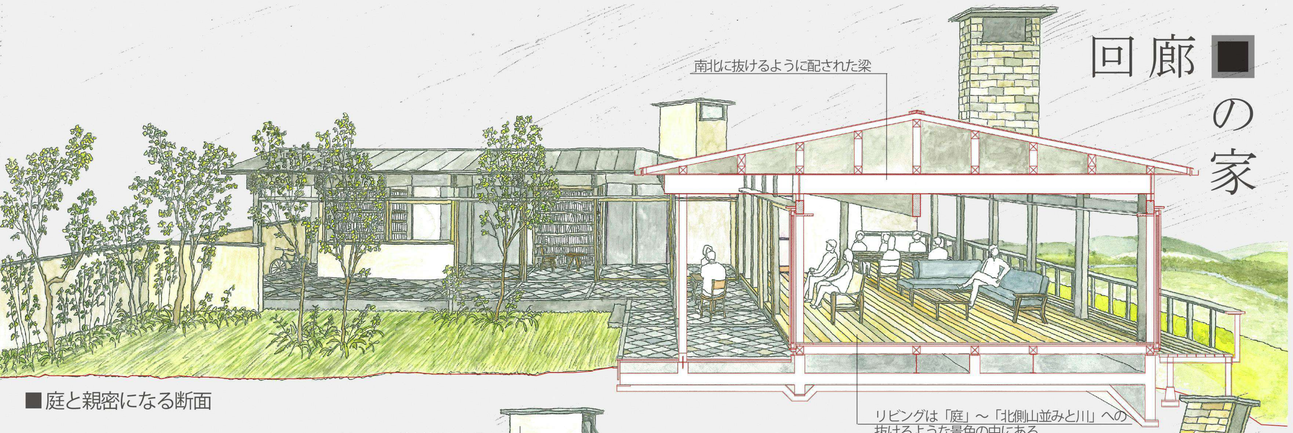
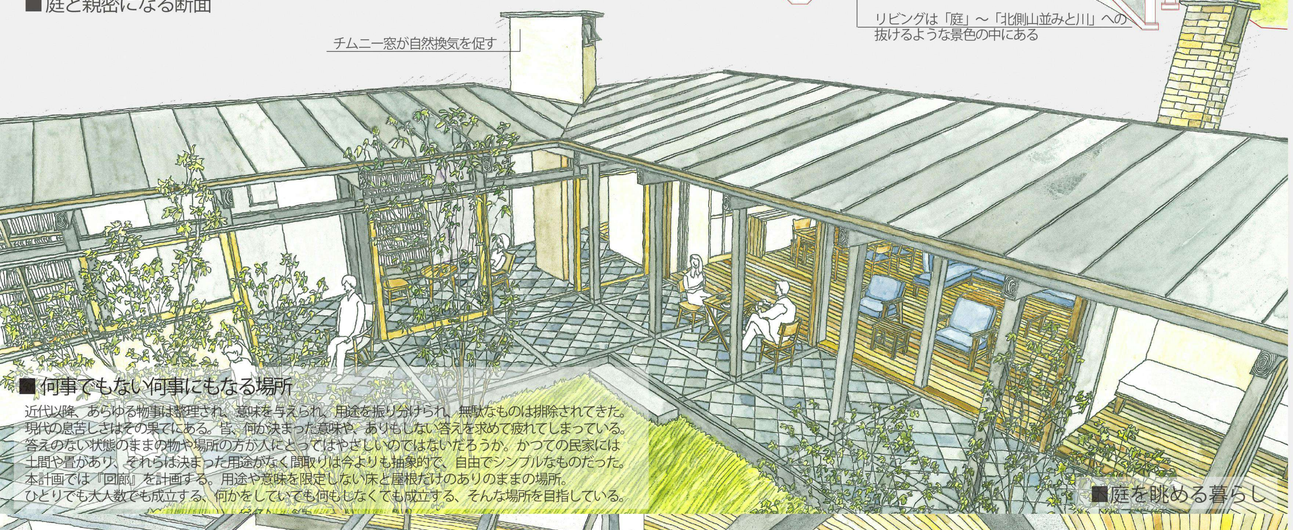
回廊■の家

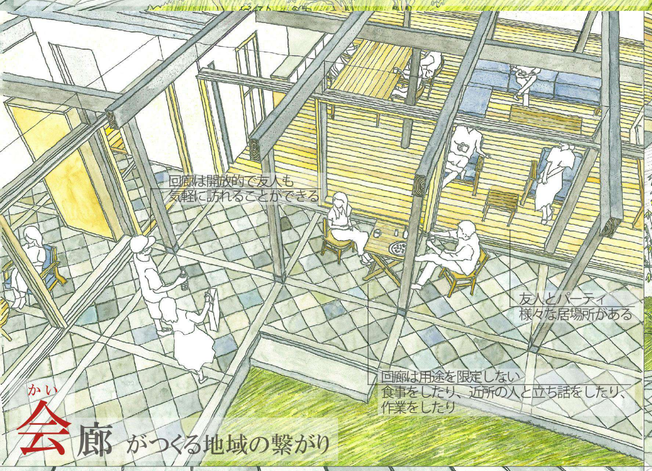


■庭と親密になる断面



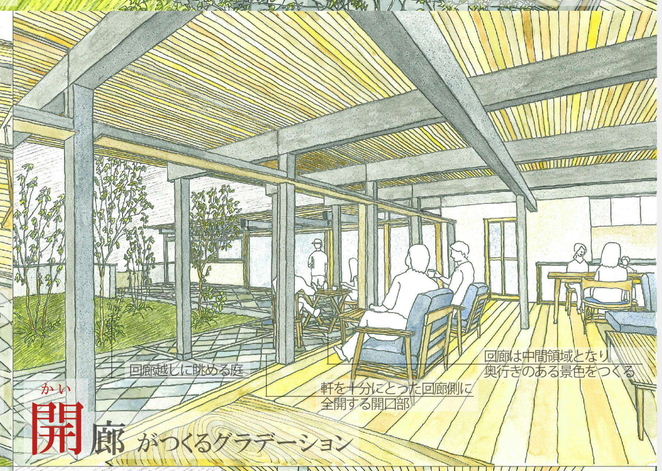
■何事でもない何事にもなる場所

近代以降、あらゆる物事は整理され、意味を与えられ、用途を振り分けられ、無駄なものは排除されてきた。
現代の息苦しさはその果てにある。皆、何か決まった意味や、ありもしない答えを求めて疲れてしまっている。
答えのない状態のままの物や場所の方が人にとってはやさしいのではないだろうか。かつての民家には
土間や縁があり、それらは決まった用途がなく間取りは今よりも抽象的で、自由でシンプルなものだった。
本計画では『回廊』を計画する、用途や意味を限定しない床と屋根だけのありのままの場所。
ひとりでも大人数でも成立する、何かをしていても何もしなくても成立する、そんな場所を目指している。

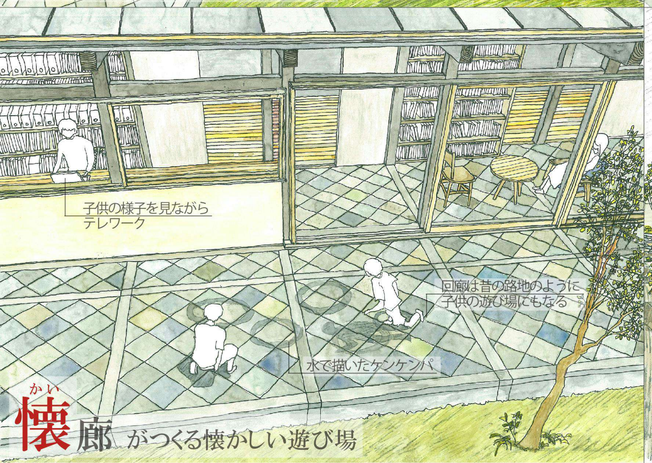


会(かい)**廊** がつくる地域の繋がり

■庭を眺める暮らし



開(かい)**廊** がつくるグラデーション



懐(かい)**廊** がつくる懐かしい遊び場

介(かい)**廊** がつくる適度な距離感

南立面図　1／100

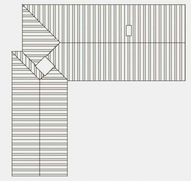
東立面図　1／100

(DATA)

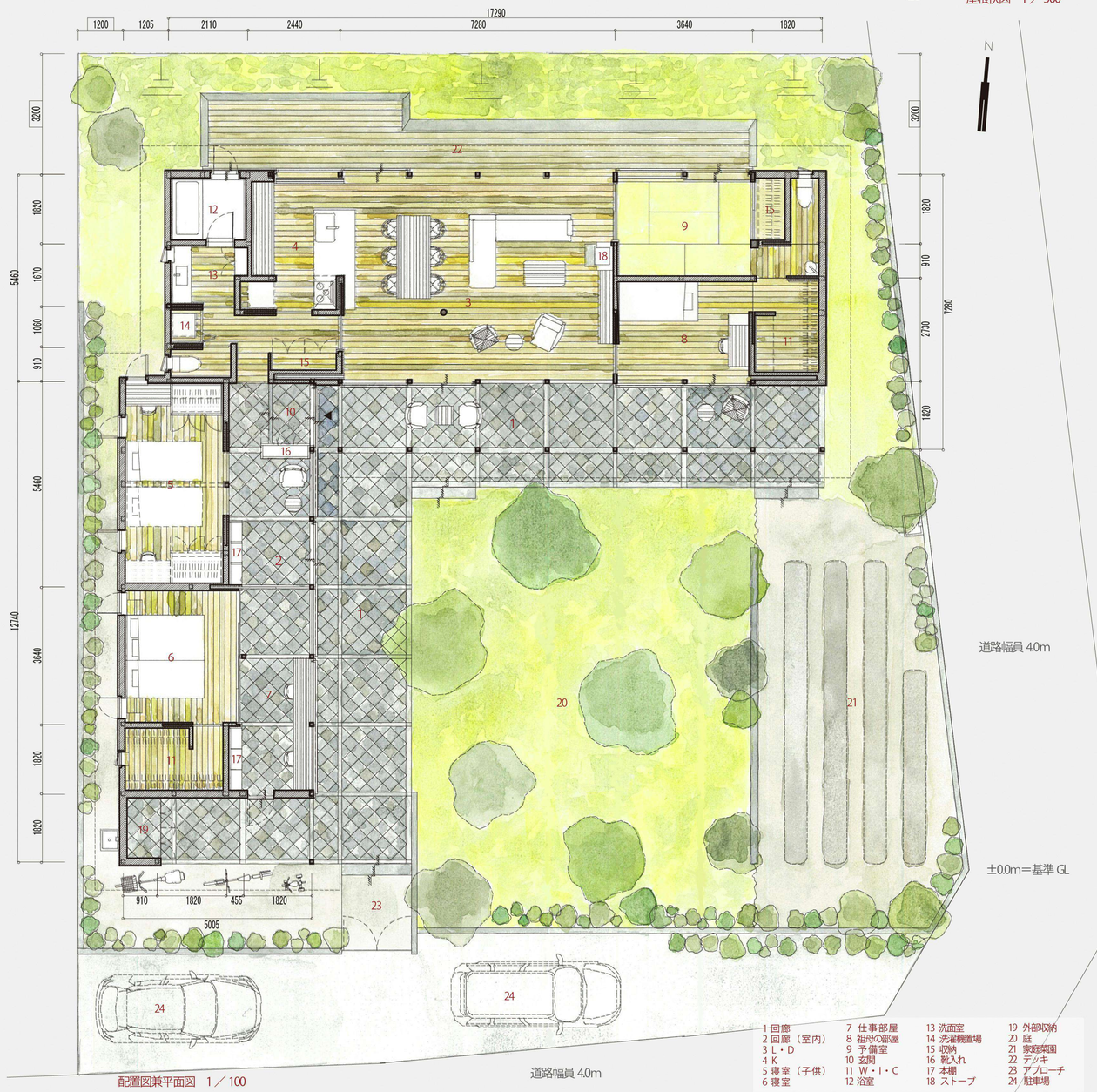
家族構成	夫婦　子供２人　祖母
屋　根	アルミニウム亜鉛めっき鋼板（不燃材）
外　壁	シラス塗り壁
軒　天	杉板

（規模・構造）

階　数	地上１階
軒　高	3250㎜
最高高さ	5010㎜
天井高さ	2610㎜
構　造	木造
敷地面積	587.96㎡
建築面積	182.71㎡
建蔽率	31.08%
延床面積	150.71㎡
容積率	23.64%



屋根伏図　1／500



配置図兼平面図　1／100

1 回廊
2 回廊（室内）
3 L・D
4 K
5 寝室（子供）
6 寝室
7 仕事部屋
8 祖母の部屋
9 予備室
10 玄関
11 W・I・C
12 浴室
13 洗面室
14 洗濯機置場
15 収納
16 靴入れ
17 本棚
18 ストーブ
19 外部収納
20 庭
21 家庭菜園
22 デッキ
23 アプローチ
24 駐車場